

## 山武市在住高齢者のデジタルデバイド解消プロジェクト

提供学科：看護学科、福祉総合学科、医療薬学科

### ◎ 目的

昨今、社会のデジタル化に伴い、多くの高齢者が最新の情報から取り残されており、高齢者のデジタルデバイド（情報格差）が社会において大きな問題となっています。

そこで、本プロジェクトでは、インターネットに慣れ親しんだ学生がデジタルデバイドの現状を把握し、さらにデジタルスキルを教えるための知識、及び、技術を獲得し、高齢者にデジタルスキルを享受することでデジタルデバイドを解消することを目的としています。



### ◎ 実施内容

- 外部講師からの講義（教授法の確認）
  - ①デジタルデバイドの現状の確認
  - ②スマートフォン教室の開催方法の確認
  - ③高齢者へのスマートフォン利用方法の教え方の確認
  - ④スマートフォンを活用したキャンパスツアーに関する実施事項の確認
- スマートフォン教室開催準備（教授法の検討）
  - ①高齢者に教える内容の検討
  - ②学生間での体験検討会
- 高齢者を招いてのスマートフォン教室開催

### ◎ 学びの効果

学生は、スマートフォンを日頃から使用し活用していたが、いざ高齢者に教えるということになった際には、「どのように教えるとよいのか?」、また、「限られた時間内で何を教えたらよいのか?」ということが、わかりませんでした。ただ、本プロジェクトを通して、外部講師からの講義を踏まえ、主体的に考えることができるようになったことは一つの成果と考えます。とくに、プロジェクトを開始した当初は主体的に参加している学生の姿はみられなかったのですが、スマートフォン教室の最終日に実施したキャンパスツアーでは、各自が生き生きと内容を考え、高齢者と愉しくキャンパス内を歩いていたことが好ましい光景であると感じました。また、本プロジェクトを通して、高齢者のデジタルデバイドの現状を把握することができ、高齢者に必要なことを考えることができたことはお大きな成果だと考えます。